



松ちゃん、雨漏りは直らんぜ!

技術管理職 OB がメディアコスモス不良を語る



写真: 仮設の換気装置

写真・岐阜市役所市民参画部

先日、市役所技術職 OB とお話しする機会がありました。メディアコスモスの雨漏り問題に話がなり「松ちゃん、経験から言えば雨漏りは直らんぜ。結局、大屋根を今の屋根の上に架けな直らん」と。また、ある現職技術職は「新聞情報の範囲内ですが、1年以上も水漏れが継続して有る事は、雨漏りと判断するのが常識と思います。」と。天井内乾燥用の仮設?換気扇は昨年5月13日から稼働。本年5月12日まで動き続け、止めたたらまた漏れて再稼働している。最初の水漏れ?から水漏れは19回を数える。

1年経過点検で23項目に不良発見 クラックは400箇所も

既に、新聞掲載(5月28日)されました「メディアコスモスの不良箇所問題」は水漏れ(松原のりかすは雨漏りと考えています)19回に代表される言い訳不可能の状態です。5月臨時議会で80万円のガラス破損問題が指摘されました。

ガラスは震度5でも割れない設計とお聞きしました。岐阜市には1年間に震度5の地震は無かったように思います。ガラスを差し込んでいるコンクリートの溝数ミリの仕上がり不良で1枚40万円のガラスが割れたとの事でした。6月3日、無所属クラブは市民参画部の説明を求めましたら不良項目は23項目だが、箇所は膨大であり、「コンクリートのひび」であるクラックでいえば400箇所以上になるとの事でした。無所属クラブは改めて不良箇所数の一覧表を要求しました。

なぜ文教委員会(2月25日)に1年点検(2月23日)報告ない・・・?

5月27日に新聞発表された情報(1年点検結果)は、2月23日に明確でありながら、二日後の文教委員会に一言も報告されなかった事実。報告がないため、当日は屋根上の水溜り問題だけが問題視されましたが、戸田建設・伊藤設計も参加しており多くの疑問を質す機会でした。岐阜市は情報隠蔽の指摘を回避出来るでしょうか?

連絡先 市議会議員 松原のりかす 岐阜市沖ノ橋町1-21 でんわ 253-2500

困ったときの 外部有識者・専門家

東京都の第三者弁護士方式・・・？

5月27日の市民参画部記者発表資料の「3今後の方針」に、「今後、外部有識者・専門家に意見を求めながら、最終的（恒常的）な対応方法を検討・決定します。」とあります。4人ほど予定とのことですが、無所属クラブでの説明では「建設業者や市役所職員と密接な関係の有識者ではだめですよ。」と指摘が出ました。

昨年、松原のりかず は屋上の仮設送風機を発見し「停止しなければ雨漏りを否定する根拠が確認できない。すぐ止めるべきです。」と指摘。部は「止められません」と回答。「では、いつまで動かすのか？」（松原）の質問に「2016年5月末」（部）**実に「1年」**と回答。送風機稼働期間中に17回、以前の1回と、5月停止後の1回をたして19回の水漏れ。月2回以上の水漏れも記録されたこととなります。「乾燥機を止められなかった理由」がここにあります。結果、5月以降の現在も送風機は稼働中です。

「夏型結露」の怪 ? 結露は冬では？

メディア水漏れは12月～2月は激減！

水漏れの多いのはグラフの17回の内、5月に5回、8月に5回です。梅雨の季節と豪雨の季節です。本当に原因は結露でしょうか？ 「夏型結露」は室内の暖かい空気が建物の冷たい部分に触れて結露すると部の説明。冷たい部分は「天井内の鉄骨」との説明。そこまで判っているなら、なぜ1年以上も解決しないのか！ 結露部分が解明されているなら、保温断熱工事の手抜きか？ 設計ミス？ 雨漏りと大差ない指摘を受ける。本当に完成検査を受けさせて良かった建物なののでしょうか・・・。



松原のりかず
☎058-253-2500